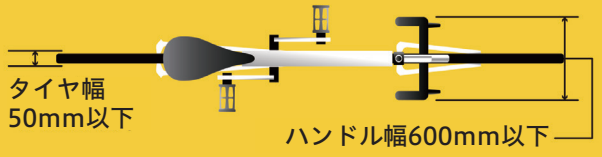
⚠ご注意ください

サイクルラックに搭載できない自転車は、そのままお持ち込みいただけません。

簡易サイクルスタンドや固定ロープ等の貸出しは行っておりません。
サイクルラックに搭載できない自転車は輪行バッグ（縦、横、高さの合計が250cm（長さ200cmまで）以内）に収納のうえご乗車ください。

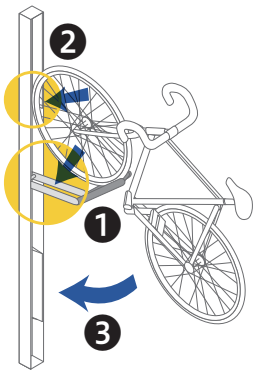
搭載可能な自転車



タイヤサイズ	18~29インチ
タイヤ幅	50mm以下
ハンドル幅	600mm以下
重量	15kg以下
前輪とダウンチューブの隙間	5mm以上

ホイールベース	
18~21インチ	1,060mm以下
22~25インチ	1,100mm以下
26インチ	1,110mm以下
27.5~28インチ・700C	1,130mm以下
29インチ	1,180mm以下

サイクルラックへの搭載方法



❶フックを引き、ガイドフレームを手前に引き出す
❷前輪をガイドフレームに乗せ、ラックの中にはめ込む
❸後輪をラックの中にはめ込む

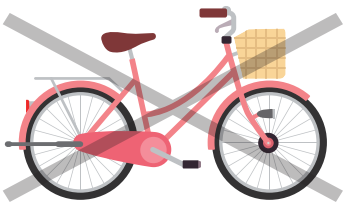
搭載できない自転車の一例

前・後輪の泥除け、後輪を囲うスタンド、ブロックパターンのタイヤ、3つ以上のタイヤを装着した自転車は搭載できません。また折りたたみ自転車やご自身で改造した自転車等、自転車の形状によっては搭載できないものもございます。

Eバイク

- 重量が15kgを超えるもの
- タイヤ幅が50mmを超えるもの

シティサイクル

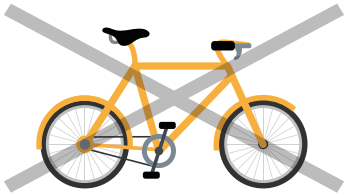


- 前・後輪に泥除けがある
- 後輪を囲うスタンド

ファットバイク（タイヤの太いマウンテンバイク）

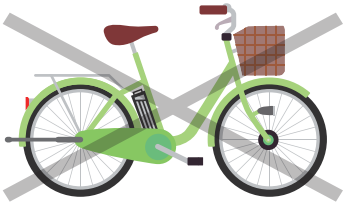
- タイヤ幅が50mmを超えるもの
- ブロックパターンのタイヤ
- ハンドル幅が600mmを超えるもの

小径車



- タイヤサイズが18インチ未満
- 前・後輪に泥除けがある

電動自転車



- 重量が15kgを超えるもの
- 前・後輪に泥除けがある
- 後輪を囲うスタンド

【輪行について】 輪行とは自転車を解体して専用の袋に入れて自転車を運ぶことです。B.B.BASEのサイクルラックに搭載できない自転車またはB.B.BASE以外のJRをご利用の際は、自転車を解体して（折りたたみ自転車は折りたたんで）専用の袋に完全に収納した状態でご乗車ください。縦、横、高さの合計が250cm（長さ200cmまで）以内、重さ30kg以内の物を2個まで持ち込むことができます。他のお客さまにご迷惑をおかけする恐れのある場合や、列車の混雑状況により持ち込みをお断りする場合があります。詳しくは右の二次元コードよりご覧ください。その他の公共交通機関をご利用の際は、各機関へ直接お問い合わせください。

詳しくはこちら▶

※写真・イラストはすべてイメージです。掲載の情報は2025年8月現在のものです。